

体協だより

第42号

平成31年3月25日

南砺市スポーツ少年団 全体交流

第3回 大運動会

第3回となるスポーツ少年団全体交流会大運動会が11月24日(土)、福野体育館で開催されました。

200個の玉を玉入れ
かごに入れるタイムを競う /

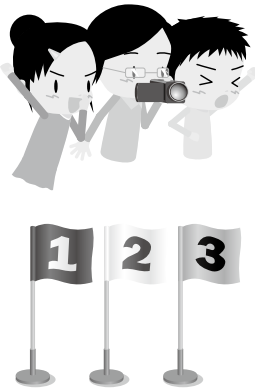
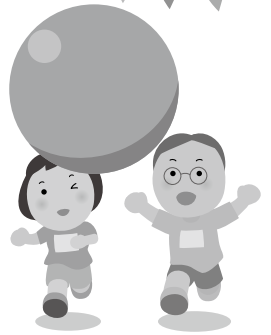


1 スピード玉入れ

団ごとに大玉と小玉を運ぶタイムを競う /



2 ビッグボールリレー



指導者対抗ロープ奪い。10本のロープを競い合う /



3 ロープで勝負!!

コープくぐりの時間を競う /



4 チームワークが決めて! コープくぐり

選手全員参加リレー① /



5 大逆転レース

選手全員参加リレー② /



6 運も味方レース



総合優勝は黄団、
2位緑団、3位橙団、4位赤団、
5位白団、紫団(同点)でした。



東京2020応援プログラム

小椋久美子 バドミントン教室

この教室は、市民の皆さんが、オリンピックや日本代表選手と直接交流することにより、スポーツへの興味・関心を高め、スポーツに親しむ市民の増加を図ることを目的として開催しました。

午前の【親子バドミントン チャレンジ教室】は、小学1年生から6年生までの親子91名が参加して行われました。小椋さんからラケットの正しい握り方や簡単な打ち方等を教わり、自分一人で上に向けて何回も続けてシャトルを打ったり、相手と向かい合って連続で打ち合ったりできるようになりました。

午後の【ジュニアバドミントン教室】は、バドミントン部やクラブに所属する小・中学生、高校生122名が参加して行われました。ドライブ、カット、スマッシュ等、実践的な形式の練習の中で、小椋さんが各コート进行り、参加者と一球ずつ対戦しました。エキシビジョンゲームでは、小椋さんが高校生とペアを組んで対戦しました。柔軟なレシーブや鋭いスマッシュを間近に見た参加者は、オリンピックの技術の高さを肌で感じる事ができました。

今回のバドミントン教室を契機に、スポーツに親しむ市民が増加することを期待するとともに、ジュニア層のレベルアップや東京オリンピック・パラリンピック競技大会の機運が高まることを願っています。



平成30年度「元気とやまスポーツ大賞」の受賞者一覧(南砺市)

スポーツ大賞

スポーツ活動者部門(個人)

まつい そま真 **松居 颯真** (ナントスイミングクラブ・福光中部小6年)

- ・「第41回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会」(2018/8/22~26:東京辰巳国際水泳場)において、男子50m自由形、男子100m自由形、男子200m自由形の3種目で小学生1位となった。
- ・「第39回JSCA全国ブロック対抗in秋田」(2018/10/7~8:秋田県立総合プール)において、男子50m自由形、男子100m自由形、男子200m自由形の3種目で小学生1位となった。この大会の結果を踏まえて、オーストラリア遠征(2018クイーンズランドスイミングチャンピオンシップ)の派遣選手に選ばれた。

体力づくり推進校部門

なんとしりつ たいらちゅうがっこう **南砺市立平平中学校** (校長 河原 秀樹)

- ・運動機会の確保に努め、地区陸上大会や県中学駅伝大会の出場に向けての練習や、ポート教室とスキー教室には、文化部を含めた全校生徒が参加している。
- ・部活動では、外部指導者と連携し、専門性の高い指導により、技能及び体力の向上が図られている。昨年度は、全国スキー大会に4名出場し、今年度は県選抜男子バレーボール大会で準優勝するなど、全校生徒43名ながら大きな成果を残している。

スポーツ賞

スポーツ活動者部門(個人)

なかしま あお **中嶋 碧** (ナントスイミングクラブ・城端小5年)

- ・「第40回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会」(2018/3/27~30:東京辰巳国際水泳場)において、女子50mバタフライ(10歳以下)で優勝、女子50m自由形(10歳以下)は3位となった。
- ・「第39回JSCA全国ブロック対抗in秋田」(2018/10/7~8:秋田県立総合プール)において、女子50mバタフライでは、小学生全体で3位となった。女子100mバタフライでも、小学生全体で3位となった。

スポーツ賞

スポーツ指導者部門

あらい りゅういち **荒井 隆一** (井波バスケットボール少年団)

H4.4月~H11.3月:外部指導者(井波中学校) H11.4月~現在:監督(井波バスケットボール少年団)

- ・井波中学校女子バスケットボール部において、7年にわたり外部指導者として部員の指導に当たった。
- ・その後、井波バスケットボールスポーツ少年団(女子)において、20年にわたり監督として小学生の指導に当たり、青少年健全育成の推進に貢献した。
- ・また、長年にわたり南砺市バスケットボール協会役員を務め、各種大会の運営に携わり、本市におけるバスケットボール競技の普及・発展に努めている。

にしだ なおほる **西田 直治** (城端ベガサス野球少年団)

S63.4月~H7.3月:監督 H18.4月~現在:コーチ(低学年チーム)

- ・現在は、城端ベガサス野球少年団・低学年チームのコーチとして、長年にわたってジュニア選手を指導・育成している。
- ・低学年の子供たちを対象にした活動で、野球の楽しさを伝えるだけでなく、挨拶や道具の準備・後片付けの大切さを伝え、子供たちの健全育成に大きく貢献している。
- ・低学年チームを卒業した子供たちが上級生となり、「高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会・富山県大会」に南砺市代表として数多く出場している。低学年で楽しく野球に親しんだ経験を生かして技能を高めており、スキル向上の基礎づくりに貢献している。
- ・今年度(平成30年度)、上級生チームは先述の大会において上位の成績を残し、「西日本学童軟式野球大会」への出場を果たした。

やました よしひろ **山下 義裕** (立野ヶ原ジュニアスキーチーム)

H2.7月~H9.3月:コーチ H9.4月~現在:監督

- ・平成2年から立野ヶ原ジュニアレーシング(現・立野ヶ原ジュニアスキーチーム)のコーチ、平成9年からは監督として、長年にわたってジュニア選手の指導・育成をしている。また、スポーツエキスパートとして、南砺市立城端中学校アルペンスキー部の指導をしている。
- ・小・中学生のジュニアオリンピックカップ、中学生の全国中学校スキー大会等の全国大会に出場する選手を多数(20名以上)育成し、全国優勝や上位入賞を果たした選手もいる。
- ・地元で開催される各種スキー競技会では、競技委員長やテクニカルディレクター(TD)等、競技役員の中でも重責を担い、大会運営に多大なる貢献をしている。



ソフトボールは元々、体育館など屋内で行われていました。当時は正式ルールもなく、ボールもバットもありませんでした。そこで、ボクシングのグローブをボールにして、箒(ほうき)をバットにして遊んでいたそうです。これが現代のソフトボールのルーツです。その後屋内スポーツとして広まり、インドアベースボールという名前でも親しまれていきました。

南砺市スキー協会

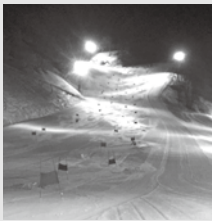
スキー協会では平成29年度から南砺市体育協会の助成を受け、特別強化育成事業を実施しています。

とやま・なんとスキー国体2020が南砺市で開催されます。

地元南砺市から国体選手を一人でも多く輩出し、入賞を目指すことはもちろん、国体強化の効果がその世代だけの一過性のものとならないようにしなければなりません。そこで「チームNANTO」として、その後に続く小学生の層の拡大を目的とし、たいらスキー場及びイオックスアローザスキー場のナイターでの練習を行い、世代別指導による合同練習会を実施しています。

選手は他チームとの合同練習で普段にない良い刺激になっており、また、コーチは他チームがどのようなことを普段意識して選手育成を行っているか良い情報交換の場となっています。

当事業を実施するに当たり、スキー場関係者のご理解に感謝申し上げます。ジュニアオリンピック、富山県学童スキー選手権での入賞者の輩出を目指していきます。



特別強化育成事業

南砺市体育協会では4団体で特別強化育成事業を行っています。

南砺市水泳協会

今年度も、オリンピックの中西悠子氏にご依頼しバタフライの泳法について指導を受けました。腕の回し方やキックの後の動作について学び実際に泳ぎ、泳法をチェックしていただきました。



講演会では、栄養学についてお話しいただきました。男子はほとんど食べる。女子は月経が来る迄食べる。基本的な食事は、栄養のバランスに注意して一汁三菜や食べる順番・練習の質によって変化させる。また、野菜はできるだけ生で食べる。鉄分をとるなど。試合期はバナナ最強。

本年度最高の成果は下記の通りです。

福光中部小 松居颯真くん 6年生 教育委員会表彰
 全国とびうお杯にて1位 50m 自由形 26.54
 100m 自由形 56.94
 200m 自由形 2.02.84
 ※自由形の全種目のランキング が全国1位



元気とやまスポーツ大賞では、全国ジュニアオリンピック他で表彰されました。

南砺市バドミントン協会

バドミントン協会では、南砺市から将来のオリンピック選手を！を課題として平成23年度より、特別強化育成事業を継続して実施しています。



中でも、補助事業により昨年の指導者講習会では、日本のトップ選手（奥原希望・元日本ユニシス日本A代表）をコーチしている片山卓哉氏（元NTT東京・全日本総合ダブルス優勝等）、またバドミントンプロコーチとして活躍中の藤本ホセマリ氏（元日本ユニシス・昨年世界シニア大会ダブルス優勝等）、今井幸代氏（元再春館製菓・現MIZUNOアドバイザリースタッフ）などを招致して3回の講習会を実施しました。



また、毎週月・水・木曜の強化練習会を実施し、技術面の指導だけでなく、メンタル面の強化と試合感覚の上達を意識した練習環境づくりをし、当協会一丸となって目標に向かって頑張っています。

南砺市ソフトテニス協会



現在日本のトップ選手として活躍する中に、徳川愛実選手（ヨネックス：福野出身）、中川瑞貴選手（ナガセケンコー：福光出身）、大井樹来選手（ヨネックス：城端出身）、早川日向選手（ナガセケンコー：城端出身）と4人もの南砺市出身の実業団選手がいます。この偉大な先輩たちに平成28年から3年間にわたり特別強化事業として、福野、福光、城端の南砺市内3つのソフトテニススポーツ少年団の子供たちが指導を受けてきました。

昨年度は全国小学生大会女子シングルスで保院愛深選手（城端）が全国9位入賞、今年度は全日本小学生大会女子ダブルスで竹中彩優菜・林咲花組（城端）が全国ベスト32、また福野男子チーム、城端女子チームが富山県代表として団体戦の全国大会に出場するなど特別強化事業の成果が確実に出てきました。

この子供たちの中から、またまた日の丸を背負い日本代表として活躍する選手が生まれることを夢見て、今後も強化事業を継続していきます。



指導者講習会

「選手のパフォーマンスを引き出す関わり方を考えよう」



2月24日（日）福野体育館において、(株)ヒューマンサポート メンタルサポート事業部長 野末貴代さんによる指導者講習会を行いました。市内のジュニア選手指導者30名が、選手のメンタルを強化し、パフォーマンスをより効果的に引き出す方法について勉強しました。グループに分かれての意見交換では、受講者の考えや疑問点がたくさん交わされました。受講者は、講師の指摘に思わずうなずいたり、反省の声が発せられるなど、多くの気付きがあったようです。今後の指導・育成に大きく生かしていただけたと思います。



南砺市スポーツ少年団入団式

日時：平成31年4月14日(日) 午前9時～
場所：福野体育館

お問合せ

下記の各支部連絡先まで

・福野支部…福野体育館	TEL 22-1115	FAX 22-1132
・井波支部…井波社会体育館	TEL 82-5026	FAX 82-5042
・城端支部…城南屋内グラウンド	TEL 62-2701	FAX 62-2718
・福光支部…福光体育館	TEL 52-2831	FAX 52-7782
・五箇山支部…平行政センター	TEL 66-2131	FAX 66-2130
・上平行政センター	TEL 67-3211	FAX 67-3030
・利賀支部…利賀複合教育施設「アーバス」	TEL 68-2016	FAX 68-2875

南砺市スポーツ少年団本部

事務局 南砺市苗島 4880 体育協会内 TEL 22-2299 FAX 22-2259

スポーツ安全保険に加入しませんか？

スポーツ活動の普及に伴いケガも増加してきています。万一の事故のために加入をお勧めします。

- ▶ 対象 スポーツ、文化、ボランティア活動、地域活動等を行う4名以上のグループ
 - ▶ 保険料
 - ◆ 児童会などの中学生以下のグループ、成人の文化・奉仕活動のグループ …… 800円
 - ◆ 高齢者(65歳以上)のグループ …… 1,200円
 - ◆ 成人のスポーツグループ …… 1,850円
- (一人あたりの年額)

お問合せ (公財) スポーツ安全協会富山県支部 TEL (076) 429-1230



南砺市体育協会強化事業

ジュニアアスリート育成事業 参加者募集!

南砺市内の小学5、6年生! 将来アスリートとして活躍していただけるステップとして必要なトレーニングを専門の先生から習得するよい機会です。あなたの参加を待っています。

「遊んで動いて楽しもう!」

わくわく運動プログラム

参加者募集!

年少から1年生までそれぞれの学年で親子を募集します。幼児期に身に付けたい運動スキルの入った親子で楽しむ運動遊びを提案します。富山大学のお兄さんやお姉さんも加わり、親子で一緒に身体を動かし、わくわくする時間を過ごしませんか?

第15回 南砺市民体育大会

開催のお知らせ

中心会期 6月16日(日)~23日(日)

編集後記

今年の冬は例年になく積雪が少なく、ウィンタースポーツが十分にできないのではないかと心配されました。しかし、幸いなことに私が関わった事業は全て予定通りに実施されました。市内の小中学校やスポーツクラブのスキー教室、中部日本スキー大会等です。

とりわけ、平地域で開催された中部日本スキー大会では、地元南砺市選手の大活躍で富山県が総合優勝の栄冠に輝き、勇気と感動を与えてくださいました。来年開催される「とやま・なんと国体2020」に大いに弾みがあったといえます。2020年には、東京オリンピック・パラリンピックも開催されます。新元号がスタートし、新しい時代の幕開けに相応しいスポーツイベントが続きます。

本号は平成最後のたよりとなりましたが、新元号になっても、この「体協だより」でスポーツの魅力や素晴らしさを皆様にお伝えしたいと思っています。(K.T)

平成30年度はスポーツ界において、パワハラ、体罰が非常に多くニュースになり寂しく悲しいと感じたのは私だけではありません。

選手への指導においては暴言、体罰はひと昔前にはよくある出来事でした。

今は、考え方、指導方法も変わってきており現代に付いていけない指導者の方も多くおられると思います。

指導者には、結果だけにとられるのではなく、その場面での感動を伝え長くスポーツに携わる選手を育てるよう意識改革をして指導に当たっていただけることを望みます。

今後も、スポーツの素晴らしさをお伝え出来る体協だよりにしていきたいと思っています。(T.O)

各種目協会のみなさんへ ホームページを活用して下さい。